

niponica

にほにか

Discovering
Japan

2014
no.

13



特集

日本のシンボル、富士山



no.13

2014年10月31日発行

発行／日本国外務省

〒100-8919

東京都千代田区霞が関2-2-1

<http://www.mofa.go.jp/>

表紙／サクラに彩られた河口湖畔の富士山（写真＝アフロ）

日本語で「日本」を表す時の音「にっぽん（nippon）」をもとに名づけられた「にぽにか（niponica）」は、現代日本の社会、文化を広く世界に紹介するカルチャー・マガジンです。日本語版の他に、英語、スペイン語、フランス語、中国語、ロシア語、アラビア語の全7カ国語版で刊行されています。

特集

日本のシンボル、富士山

04 富士山は世界の宝

08 富士山はなぜ祈りの山になったのか

12 富士山エリア地図

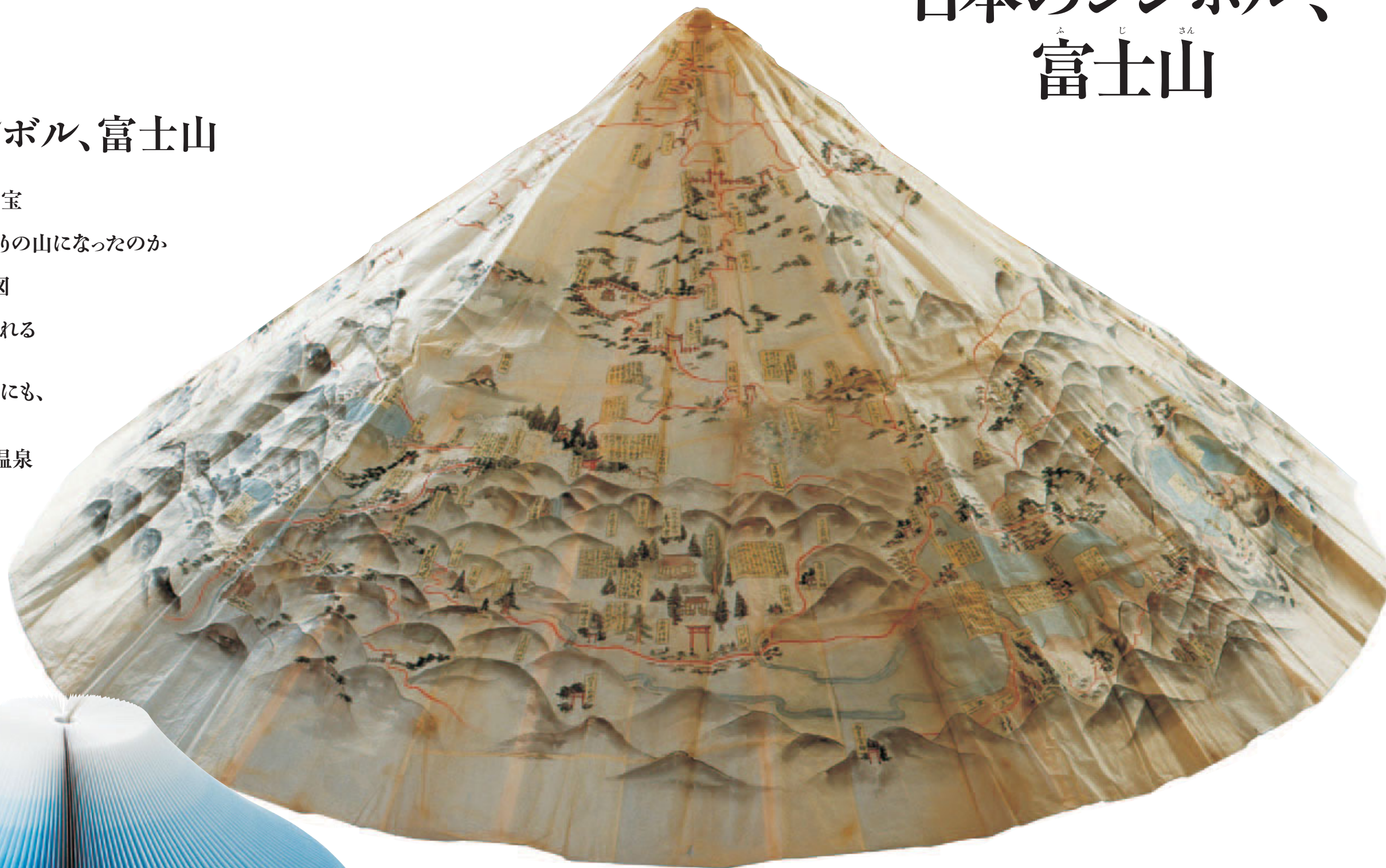
14 富士の神秘にふれる
体験！エコツアー18 あっちにも、こっちにも、
富士山

24 富士山の見える温泉

26 召し上がれ、日本
ワサビ28 ニッポンみやげ
お菓子になった
富士山

特集

に ぽん
日本のシンボル、
ふ じ さん
富士山



たか うるわ み じ やま ふる しん こう たいしょう
高く麗しくそびえる富士の山は、古くから信仰の対象として、
また芸術の源泉として崇められてきた。その価値が認められ

ねん せ かい ふん か い さん ふ じ さん しん こう たいしょう げい じゅう げん せん とう ろく
2013年にはユネスコの世界文化遺産に「富士山—信仰の対象と芸術の源泉」として登録された
日本のシンボル・富士山の内側に、迫ってみよう。

上／紙を貼り合わせた立体形の富士山案内図（「富士山真図」1838年制作

個人蔵、写真＝富士吉田市歴史民俗博物館）

左／広げると富士山型になるメモ用紙（協力＝カガヤカ）

富士山は 世界の宝

富士山の姿は一樣ではなく、気象条件や
太陽のめぐりによって、見る場所によって、
さまざまな顔を見せる。

だが、共通しているのは、どれも世界の宝にふさわしく、
荘厳な美しさをたたえていることだ。

山梨県南アルプス市の楡形山から見た富士山（写真＝大山人男）



上／「ダイヤモンド富士」は、太陽の位置が
頂上にびたりとそろう現象（写真＝アフロ）
下／富士山の伏流水が毎秒1.5tもの水量で流
れる白糸ノ滝（写真＝アフロ）
7頁／本栖湖（写真＝山梨日日新聞社）





富士山はなぜ 祈りの山になったのか

談話●山折哲雄 写真●小野庄一

富士山が日本人にとって特別な山である理由は、ただ美しいからというだけではない。この山にとりわけ強い神性を感じ、祈りの対象としてきたからである。ではなぜ、どのようにして富士山は祈りの山になったのだろうか。古来、日本人が富士山に抱いてきた心情を探る。



頂上の火口まわりに連なる8つの峰それぞれに鳥居が立ち、聖域を示す縄が張られる。登山者が結んだ鈴の音が響く
左／非常に尊いとされる富士山頂の日の出を拝む登山者たち

富士山は日本の「山岳信仰」を象徴する山ですが、そもそも、日本の山岳信仰とはどのようなものなのでしょうか。

日本列島全体を見渡すと、山と森を合わせて国土の75%前後にもなるといいますが、まずはこれだけの山が存在するという環境が、山への信仰を育む素地をつくったといえるでしょう。そして太古の昔には、肉体を離れた死者の魂は山を登っていくと考えられ、頂に至っては神となり、さらには氏神という一族の護り神にまで転化するとされていました。

やがて仏教が伝わると、死者の魂が岩肌や樹木の間をぬって山を登っていく様子を六道（輪廻思想で死後に出会うとされる6つの世界）になぞらえ、最後は山頂で仏になるという信仰が生まれました。その結果、山は、神と仏がいっしょにすむ、この上なく神聖な場所として捉えられるようになったのです。

登るための山ではなく、 仰ぎ見るための山

山岳信仰が発展していく中で、神がすむ山頂、つまり「あの世」を地上から仰ぎ見て拝む、という日本人の基本的な態度が生まれてきます。富士山頂には、浅間神社と呼ばれる、富士山を代表する神を祀った社がありますが、頂以外にも、山域の至るところに浅間神社が建てられているのは、「神そのものである山」を拝むために必要だからなのです。7世紀後半から8世紀後半にかけて編まれた日本最古の和歌集『万葉集』の歌の中にも、既にそのことが詠まれています。宮廷歌人だった山部赤人は、富士山を「高く貴い」美しい山であるばかりでなく、「神さびて」といって讃えました。神さびるとは、「神のごとく



富士山頂の南西約45kmに位置する三保松原。天女が羽衣をかけたという伝説の松を神木に祀る御穂神社がある。その神秘性と富士山を望む眺めの見事さが、和歌や能、絵画などに芸術的着想を与えてきた（写真＝アフロ）
11頁上／富士山本宮浅間大社の境内でもある頂上で、深夜、聖域を見守る守護獣の狛犬
11頁下／山頂火口。その周縁約3kmを一周できる

ふるまう」という意味であり、山そのものが神であるという、当時の富士山への信仰心をよく表しています。西欧では、山を含む自然は神の力で征服すべきものとされます。豊かな自然から神仏の気配を感じ、山が神であると考える日本とは、大きな違いがあります。

富士を愛でる旅

富士山は、日本一高い山ですから、関東から関西、あるいは関西から関東に旅をする時には、必ずといっていいほど目に入ってきます。江戸時代（1603～1867）には箱根八里という幹線道路がつくられ、美しい富士山を眺めるのに絶好のルートとなりました。以前、私も箱根八里を歩いた経験がありますが、御殿場（静岡県東部）あたりからふり仰ぐ富士山の美しさは、まさに想像を絶するものでした。歩いたのはほんのわずかな距離でしたが、いまだに忘れることができません。道は平坦でも、富士の姿が刻一刻と変わっていくその景色は変化に富んでいて、見飽きるということがない。歩き疲れて海岸に寝転がると、浮世絵に描かれた、波しぶきを手前に画面からはみ出すような富士山が、実に大きく、美しく、実感をもって迫ってきました。信仰の対象であり、美しい山容で旅心をみたくくれる富士山を楽しむために、この箱根八里というルートがつけられたといっても過言ではないでしょう。歌川広重や葛飾北斎が描いた富士山の浮世絵が人気を呼び、富士

講という民衆の宗教組織で富士山に登拝する「信仰ツアー」が大流行し、富士山信仰はさらに大衆化していきま

畏怖の念を忘れない

一方、1707年を最後に、ここ300年ほど大噴火は起きていませんが、富士山はれっきとした活火山であり、美しいだけでなく怖い山として恐れられてきた歴史があります。神である富士山は、時として恐ろしい災厄をもたらす存在でもあったわけです。2011年に起きた東日本大震災と同様、美しい自然も噴火や地震を起こす暴力的で破壊的な存在になり得るのだという畏怖と無常の念を、日本人は常に心の奥底に持っているといえるでしょう。富士山域に数多く点在する浅間神社には、恐ろしい災厄を鎮めたいという願いもまた、深く込められているのです。

山折哲雄（やまおり・てつお）
宗教学者。評論家。国際日本文化研究センター名誉教授。国立歴史民俗博物館教授、京都造形芸術大学大学院長、国際日本文化研究センター所長などを歴任。『日本文明とは何か』など著書多数。

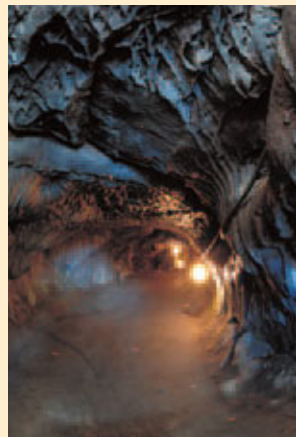




富士山エリア地図

「信仰の対象」と
「芸術の源泉」としての
価値に関係の深い
神社や湖沼など、
ユネスコ世界文化遺産に
登録された
「富士山—信仰の対象と
芸術の源泉」の
構成資産を中心に紹介する、
富士山とその周辺。

地図制作●尾黒ケンジ
写真●名取和久、pixta



②船津胎内樹型。溶岩流が樹木を封じ込めたあと樹木が焼け、樹型だけが空洞状に残った。形が人の胎内に似るため聖地に（写真＝山梨日日新聞社）

ユネスコ世界文化遺産に登録された「富士山—信仰の対象と芸術の源泉」の構成資産

富士山域

- ①-1 山頂の信仰遺跡群
- ①-2 大宮・村山口登山道（現在の富士宮口登山道）
- ①-3 須山口登山道（現在の御殿場口登山道）
- ①-4 須走口登山道
- ①-5 吉田口登山道
- ①-6 北口本宮富士浅間神社
- ①-7 西湖
- ①-8 精進湖
- ①-9 本栖湖

- ② 富士山本宮浅間大社
- ③ 山宮浅間神社
- ④ 村山浅間神社
- ⑤ 須山浅間神社
- ⑥ 富士浅間神社（須走浅間神社）
- ⑦ 河口浅間神社
- ⑧ 富士御室浅間神社
- ⑨ 御師住宅（旧外川家住宅）
- ⑩ 御師住宅（小佐野家住宅・非公開）
- ⑪ 山中湖
- ⑫ 河口湖

忍野八海

- ⑬ 出口池
- ⑭ お釜池
- ⑮ 底抜池
- ⑯ 銚子池
- ⑰ 湧池
- ⑱ 濁池
- ⑲ 鏡池
- ⑳ 菖蒲池

- ⑳ 船津胎内樹型
- ㉑ 吉田胎内樹型
- ㉒ 人穴富士講遺跡
- ㉓ 白米ノ滝
- ㉔ 三保松原

富士の神秘にふれる

体験！エコツアー

富士山のまわりには、大昔にあった噴火のなごりがあちこちに見られるが、北西麓に広がる森「青木ヶ原樹海」もそのひとつ。エコツアーで、激しい火山活動の跡がしのばれる地形や洞窟、ユニークな植生など、富士山の自然の神秘を体験しよう。

写真●名取和久 地図制作●尾黒ケンジ

富士山は、これまでに何度も噴火によって周辺の地形を変えてきた。北西麓に位置する青木ヶ原樹海も、貞観噴火（864年）で流れ出した溶岩が固まってできた、標高約900～1300m、広さ約3000haの広大な森である。

樹木が多く深い森であるため、昔から「なんとなく恐ろしい」「入ったら出られない」といったイメージを持たれることが多く、日本人でも実際に足を踏み入れた人は少ない。だが、最近は豊かな自然環境が注目され、気軽に楽しめるエコツアーが人気になっている。富士河口湖町公認ネイチャーガイドである栗林秀旭さんのガイドで森の中へ入ってみた。

溶岩の上に最初に生えるのは、地衣類（菌類と藻類の共生体）だ。次にコケ、そして草が生え、少しずつ、土が形成される。青木ヶ原樹海が世界的に珍しいのは、土の深さが10cm程度の状態なのに、樹木が生えていること。それを可能にしたのは富士山の南にある太平洋の存在だ。海から常に湿った空気が流れてくるためにコケが育ち、コケの保水力を利用して樹木が育つことができたのだ。

生えている樹木の約8割を、常緑樹のヒノキとツガが占める。土が深くないため根が横に伸び、地面は露出した根でデコボコしている。そして樹木がある程度まで伸びると、根は幹を支えきれずに倒れる。だから、樹海の木の高さは、ほぼ一定に保たれることになる。

森の中は湿気が強く、木の濃い香りがする。多少の雨

なら密集する樹木のおかげで傘をささずに歩ける。森林浴にいい場所だ。歩いて30分ほどで、全長230m以上、地上との高低差が最高約20mの「富士風穴」に着く。風穴とは、溶岩内のガスが溶岩を突き破ってできた洞窟のこと。ここは夏でも水が見られる。江戸時代初期（17世紀）、当時の将軍・徳川家康は、風穴の水を江戸（現在の東京）まで運ばせたと、地元では言い伝えられている。真っ暗な穴を手探りで下り、30mほど進むと、地面も壁も凍っており、水晶のような水柱が現れる。絶えず染み出す富士山の伏流水が凍ったものだ。水が気化する際に周囲の温度を下げるため、気温は夏でもマイナス2℃、冬にはマイナス15℃にもなる。

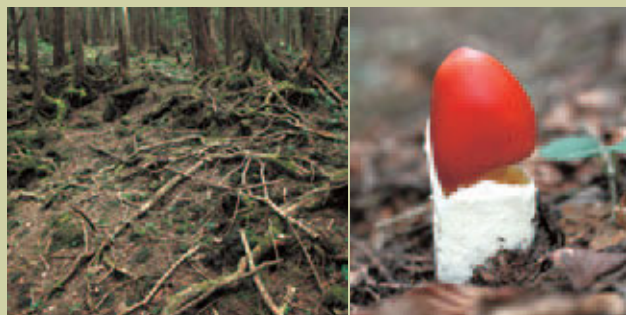
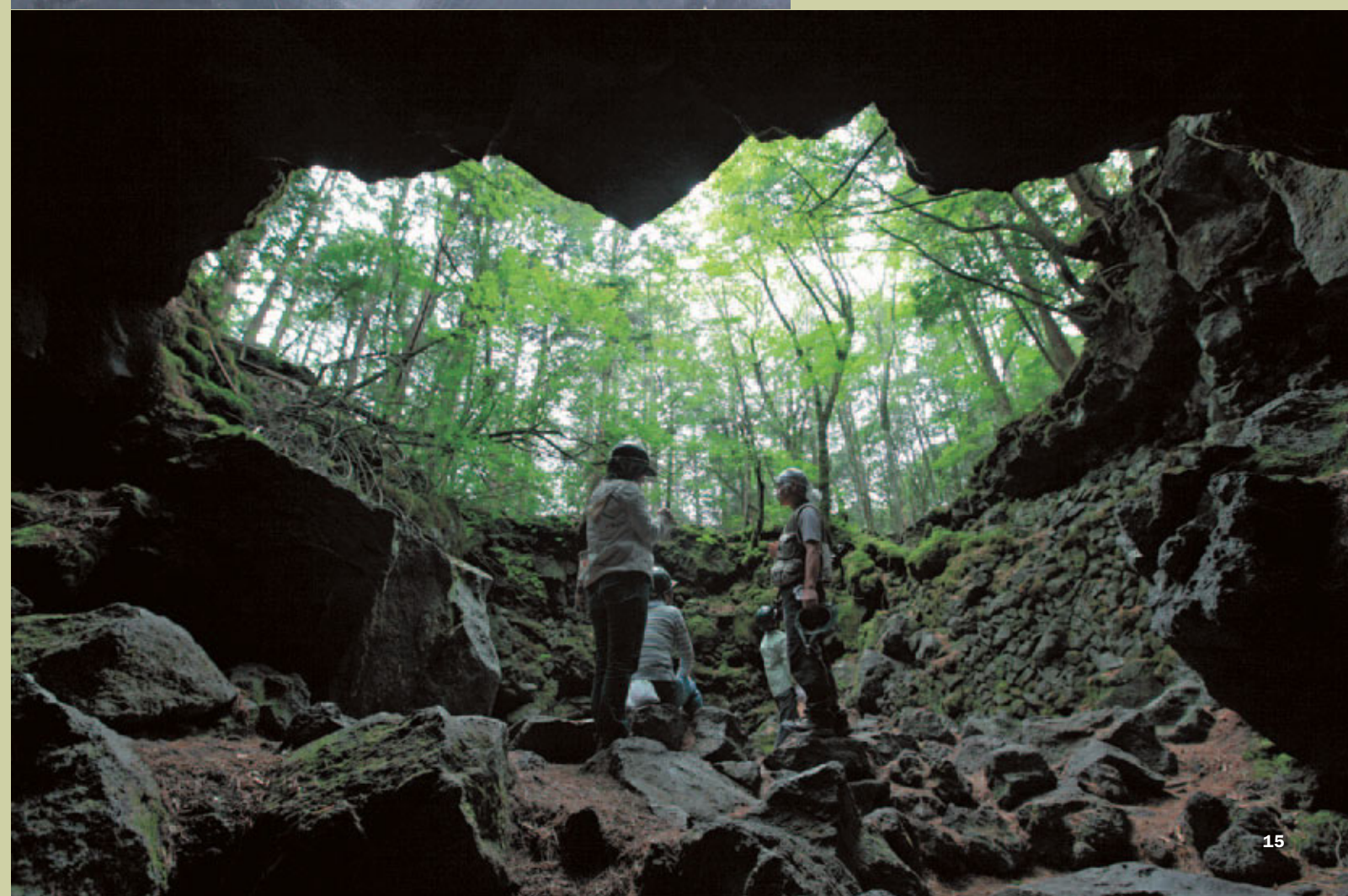
青木ヶ原樹海を抜け、大室山に入ると、まず足の感触が変わった。溶岩がむき出しの樹海の道は固いが、ブナ、ミズナラなど落葉広葉樹が多い大室山は、葉や土が堆積し、歩道が柔らかいのだ。日差しも明るく差し込んでくる。

栗林さんは言う。「私は富士山が好きで、もっと富士山のことが知りたくなってガイドの仕事を始めました。青木ヶ原樹海も富士山の一部。この樹木の生命力、素晴らしいさをエコツアーでぜひ実感してほしいですね」

富士山がつくりだした青木ヶ原樹海。そこは自然の神秘を感じられる、美しい原始の森だった。



左上／天井から落ちる水が凍ってできた水筍（ひょうじゅん）は、一年中目にする事ができる
右上／富士山の伏流水から生まれた、濁りのない、透明な氷
下／溶岩の塊・玄武岩でできた富士風穴。内部は照明もなく危険なので、入るためには許可を取り、ガイドに引率してもらう必要がある





16頁／根が地表に伸びる青木ヶ原樹海
の木々。ヒノキとツガが多い



青木ヶ原樹海にほど近い大室山（1468m）にて。富士山のまわりに数多く存在する側火山のひとつだ
上／ブナやミズナラなどの落葉広葉樹や日本特産のハリモミといった多様な樹木がある。太いやまブドウのつるは、自然のブランコに左／富士河口湖町公認ネイチャーガイドの栗林秀旭さん。富士山の歴史だけでなく木の特徴などもわかりやすく説明してくれる。「木がなかったら私たち人間は生きていけない。木をもっと大切にしてほしい、そんな願いを持ってガイドをしています」と語る
右／樹齢300年、400年といった巨木が多い



青木ヶ原樹海エリア地図

富士風穴は手つかずの自然が残る貴重な場所で、入るには許可が必要（エコツアーに申し込めば、主催者が申請してくれる）。鳴沢氷穴、富岳風穴は観光用に整備されている。

●問い合わせ
富士エコツアー・サービス
<http://www.fuji-eco.com/>
（日本語のみ）
富士風穴・大室山を巡るコースの他、富士山に登るエコツアーもある

富士河口湖総合観光情報サイト
（英語・中国語・韓国語）
<http://www.fujisan.ne.jp/nature/>



あっちにも、こっちにも、富士山

さまざまな地点から富士山を探し、暮らしのすみずみにまでその形を取り入れる。
常に富士を感じたいという情熱が、日本のあちこちに富士山をあふれさせることになった。



19世紀の浮世絵に描かれた風景と同じ場所から見る、現代の富士山の姿（上／静岡県静岡市、写真＝庄司博彦 下／歌川広重「東海道五十三次之内 由井 薩埵嶺」所蔵＝東京都立中央図書館特別文庫室）

富士山を探せ

ふもとの町から、首都・東京から、空港から……。
各地から顔をのぞかせる富士山は、どれも皆それぞれに美しい。



ふもとの町からも、 遠く離れた場所からも

1. 豊漁と航海の安全を願う祭りの背景にそびえる富士山。静岡県沼津市・大瀬まつり（写真＝庄司博彦）
2. 富士参拝の前に安全を祈り、海岸の石を積んでつくられた塚。静岡県富士市（写真＝庄司博彦）
3. 約200km離れた三重県伊勢市の二見浦にて、遠方に望む富士山（写真＝pixta）
4. 東京の新名所、スカイツリーと（写真＝アフロ）
5. 天気の良い日には、東京国際空港（羽田）からも眺められる（写真＝アフロ）

富士山に 思いを込めて

日本人が富士山に寄せる思いは、
形そのものに対する親愛の情を育て、
さまざまなものの中に、
その姿形を投影させてきた。

形に力が宿る

右／富士山と三保松原の風景を描いた20世紀
初頭の着物の作品（所蔵＝東京国立博物館
Image：TNM Image Archives）
下／北口本宮富士浅間神社の火祭りでは、富
士山型の神輿（みこし）をかつぐ（火祭りの
写真＝富士吉田市歴史民俗博物館）



富士山が町の顔

静岡市（1）、静岡県（2）、山梨
県（3）、富士吉田市（4）、富士
市（5）など、富士山を仰ぐ各自治
体のマークに見られる象徴化された
名峰のかたち



富士山のふもと町の歩く時は
足元に注意。カラフルな富士
山が描かれたマンホールの
蓋を富士市（6）と富士吉
田市（7）で発見



ほんもの 本物じゃなくてもありがたい

公衆浴場・銭湯の壁には、富士山が描かれるこ
とが多い。富士山が見えない町でも、お湯につ
かって美景を楽しみ、ゆったりとくつろぐこと
ができる（写真＝アフロ）



暮らしの中の富士山

単純で、わかりやすく、完成されたフォルムを持つ富士山は、生活雑貨にもその万能性を発揮している。最近ではポップでかわいい富士山雑貨も増えている。

写真●堀口宏明



雑貨で楽しむ富士山

1. 開けば富士山が現れる扇子 2. パスポートを入れたら浮世絵の富士山そっくりになるケース 3. ふんわり置くと富士山のように見えるハンカチ 4. 丸めて細長い富士山型にして使うメガホン 5. 真ん中から紙を引き出すと、頂上に積もった雪のように見えるティッシュケース 6. 工事などに使う保安器具も富士山をかたどって楽しく

協力／鎌倉香紙堂（1）、goodbymarket（3・5）、アドライン（4・6）

富士山で、よりおいしく

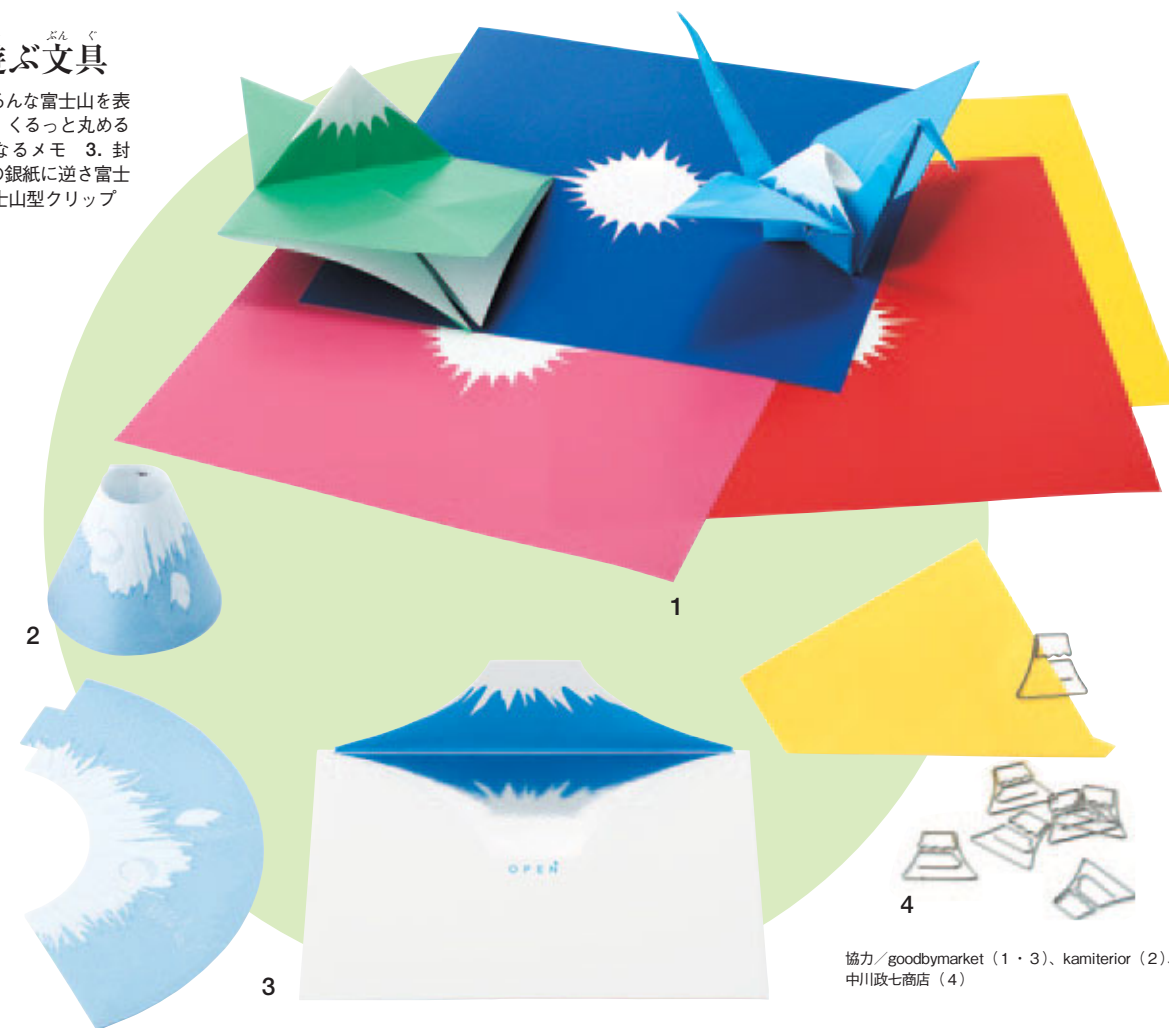
1. 日本酒を飲むための小さな器。ひっくり返すと富士山に 2. カップの上の富士山は、実はティーバッグの一部 3. 富士山型の氷をつくる製氷器。できた氷をグラスに入れ、透明な富士山を味わおう 4. ビールを注ぐと冠雪の富士山が現れるグラス



協力／金照堂（1）、ソラリネ（2）、イデアインターナショナル（3）、菅原工芸硝子（4）

富士山で遊ぶ文具

1. 折り方次第でいろんな富士山を表現できる折り紙 2. くるっと丸めると立体的な富士山になるメモ 3. 封を開けると、内側の銀紙に逆さ富士が映る封筒 4. 富士山型クリップ



協力／goodbymarket（1・3）、kamiterior（2）、中川政七商店（4）



1

富士山に見える温泉

富士山には、拝んだり、登ったりするだけでなく、温泉につかりながらその山容を愛でる、という楽しみ方もある。

周辺の山梨・静岡両県にある

「富士山に見える温泉」を訪ねて、至福の時間を過ごしてみてはいかがだろうか。

地図制作●尾黒ケンジ



2



3



5



4

1. すそ野まで全部見渡せる露天風呂で、四季折々の富士山を堪能（ホテル鐘山苑・山梨県）
2. 全面ガラス越しに、富士山を体感できる公衆浴場（ごてんば市 温泉会館・静岡県）
3. 天気によければ、河口湖に映る逆さ富士が見られる（湖楽おんやど 富士吟景・山梨県）
4. 登山や観光の後に、気軽に立ち寄ることもできる（山中湖温泉 紅富士の湯・山梨県）
5. 高台の立地を生かし、富士山を見渡しながら露天風呂が楽しめる（大仁ホテル・静岡県）

召し上がれ、
日本

3

ワサビ

ぴりっと辛い、和食の名脇役

写真●名取和久 協力●田丸屋本店



ワサビで主に食用になる地下茎部分。
茎や葉は、漬物などに加工する

刺し身やにぎり寿司に欠かせないワサビは、醤油に溶いたり、すし飯と生魚の間にしのばせたりして使用する香辛料だ。口に入れるとツンと鼻に抜ける刺激が生魚の臭みを消し、うまみを引き出してくれる。

ワサビは、日本原産のアブラナ科の多年草で学名も「Wasabia japonica」。その歴史は古く、10世紀頃の文献に既に記述が見られる。根の部分ですりおろして使うが、その刺激ある辛みが最大の特徴だ。成分に含まれるアリルカラン油には抗菌性があるため、食材の鮮度を保つ効果もある。そして、根だけでなく茎や葉も漬物などに利用される。

生育にきれいな流水が必要なことから野生のワサビは溪流のほとりなどで育ち、またいくつかの山間地で栽培もされている。富士山の麓も名

産地のひとつだ。静岡県富士宮市にあるワサビ園を訪ねると、あちこちで水が湧く敷地内でワサビが水耕栽培されていた（27頁写真）。近くに富士山の伏流水を水源とする芝川が流れ、水量が豊かで流れの速い川のまわりは水しぶきで視界が曇る。富士山そのものには川や池がないが、雨水や雪どけ水が地面に染み込み、長い時間をかけて濾過され、伏流水となって川や湖に流れ込むのだ。

ミネラル豊富な富士の水のおかげでワサビがよく育つのだと、ワサビ園の杵塚真美さんは言う。園のワサビは砂利を含む砂地に植えられているが、この砂利も富士山から採取したものだ。水温は一年を通して10～11℃。白い花が咲き、根がある程度大きくなるまで、1年半から2年をかけゆっくりと育てる。園では、時

期をずらして作付けするので、一年中収穫できるという。

重要なのは、水温を一定に保つよう水を常に均一に流すこと。水流を妨げるゴミや藻はまめに取り除く。大雨などで川が濁流になると、ワサビが変色する原因になるので引き込む水量を調節するなど加減も必要だ。「水も砂利も富士山のもの。ここでは、富士山の恵みでおいしいワサビが育つんです」と杵塚さん。

ワサビは高価なため、最近ではホースラディッシュを原料とした代用品が使われることが多い。しかし、ワサビ特有の嫌みのない辛さ、爽やかさは代用品には及びようがない。ワサビは水に恵まれた日本の風土を生かした、和食の名脇役なのだ。



左／ワサビの辛み成分は、すりおろすことで引き出される
右／ワサビは、魚の生臭みを消し、うまみを引き立たせる
27頁／田丸屋のわさび園（静岡県富士宮市）で育つワサビ。近くに、清冽な水をたたえる川が流れる（左下）



1

2

3

4

お菓子になった富士山

写真●堀口宏明 協力●中川政七商店、FUJIYAMA COOKIE、メリーチョコレート

富士山をかたどったお菓子はこれまでも存在していたが、2013年に富士山がユネスコの世界遺産に登録されてからは、種類と数がどんどん増えている。

今回紹介するのは、そのほんの一部だ。米粉の生地には、餡をはさむ和菓子・最中には、富士山に加えて福を呼ぶ柄とされる夫婦鶴がかたどられ、二重のおめでたさが表現されている（1）。ゆるやかな稜線をかたどった形とパステルカラーがかわいいクッキ

ーは、ポップな雰囲気の中にもほのぼのとした味わい（2）。果物味のゼリー（3）や、真っ赤な太陽と富士山を閉じ込めた飴（4）など極小の富士山は、口に入るところを想像するだけで、何とも楽しい気持ちになる。

空港で、富士山付近の駅や売店で、色とりどりの甘い富士山を探してみよう。

niponica

にほにか

〈日本語版〉

2014 no.13

発行／日本国外務省

〒100-8919 東京都千代田区霞が関2-2-1

<http://www.mofa.go.jp/>（外務省ホームページ） <http://web-japan.org/>（日本紹介ウェブサイト）